

## C テーマ1 子育て支援

### ・グループリーダー

子育てについて「こういう風にして欲しかったのに。」とか、子育ての経験から思うことなどお話しして下さい。

### ・市民

幅が広くて、何から話していいか、キーワード見ても広い。育てる側として子どもが育ちやすい地域なのか。

### ・グループリーダー

子供に向けた視点、また親から見た視点で「こうあって欲しい」とか、行政に対して「マチを良くするとは、こういう施策だ」という話を。

### ・市民

子育て支援の態勢について、留萌は障害児のグループホームもない。ようやく放課後サービスが市内に2カ所出来た。でも、日曜日に使えるのはそのうち一ヶ所。財政難ということで、市がしてくれない。企業に任せている。

私は「夏祭り」を行なって資金を集め、発達支援センターに寄付させてもらっている。障がい者福祉といっても、行政に考えてもらえない。一般の人が立ち上がって施設ができています。

旭川・札幌では立ち上がっている。留萌市が情けない状況だと感じる。子供は高校1年生で鷹栖養護学校に通っている。留萌に養護学校が出来ないかと直接(市長に?)聞いたが、分校の方向性も考えられないということだった。親の立場から言えば、それは留萌から離れなければならなくなるということ。社会福祉に温かいマチ、一般の障害者に温かいマチは、市民みんなに温かいマチになる。通園センターは中学までだから、高校生になったら留萌に帰って来られなくなる。いろんな障がいを持つ子どもの親にしてみたら「施設をつくるしかない。」「そういう施設があるマチに行くしかない。」となる。市として、具体的な施策をやってほしい。

### ・グループリーダー

ほかに、子育てに「こういう施策が必要だ。」という意見はありませんか。

### ・市民

空手の指導をしている。大きくなって留萌から離れた子どもたちの中には、留萌が好きで帰ってきたいという子どもたちがかなりいる。しかし、帰ってくる場所や働く場所がない。市役所とか消防とか自営業を継ぐとか、そういう職場しかない。子どもたちは私たちが思っている以上に留萌が好きで帰りたがっている。企業や市役所の積極的対応を望む。あと、施設設備の関係で空手をするのにもお金がかかる。マット一枚100万円以上かかる。自分は空手の指導をはしているが、別の仕事をしている。スポーツ団体に対して、子どもたちのために施設の整備を進めてほしい。

### ・グループリーダー

地元就職できる環境を整えてほしいということですね。

### ・市民

娘が、子育てをしているが、昔とは変わってきている。子育て世代の人は大変。勤められない。どういう状況だったら仕事を続けられるのか、理想論ではなく悩んでいる。どのようにしたらいいかは、個々の問題で様々だが実態として子育てをして仕事をしている人がしやすい状況になっているのか。

## テーマ1 子育て支援

- ・グループリーダー

就労をして子育てしていける環境を整える必要があるということですね。

- ・市民

子どもたちが将来的にどういう考えを持って生活していくのか、となったときにやはり働く場所が無いというのは留萌の現状かな、と思いますし、子どもたちがこの将来留萌で働くというイメージを持つためにどんな仕事があって、どんなふう働いている大人がいてというのが、なかなか具体的に見えない。

各学校では中学校、高校ではインターンシップとか職業体験とかいって、各職場にお邪魔していろんな協力を得ながら、教育を行っているんですけども、そういった機会をもっと増やしていけたらなということと、いろんな方のご協力をお願いしたいなと思います。

## C

## テーマ2 信頼される地域医療

- ・グループリーダー

市立病院の話に移ります。

- ・市民

市立病院は管内にとっても大事な病院。安心して子どもを産める病院かということ難しい。産婦人科を充実して、常時、医師が二人いて安心して産める体制にしてほしい。

- ・グループリーダー

女性専用の外来が設置されている病院もあるが、その辺は。

- ・市民

ウィメンズクリニックは留萌にないから、大きい街の病院に行くには仕事を休めないので行けない。地元であればと思う。

今、遠隔地医療が地方で行われている。そういうシステムが、留萌でもできないか。高齢者が、ボタンを押すと医師の顔が見えてやりとりができるような。

- ・グループリーダー

市立病院は二次医療の病院だから、一次医療を担う病院とも連携してという面もありますね。救急外来などで、不自由なところはありますか。

- ・市民

私たち団塊の世代がみんな元気であることが大事だと思う。元気であるためにどうするのか。病気にかからないために。子育てもそうだが、人間関係がうまくいくような、医療・介護の方法があればいい。

- ・グループリーダー

市立病院がこうなったらいいという意見はありませんか。

- ・市民

医者や看護師に笑顔があるような病院になってほしい。

- ・グループリーダー

笑顔がなければ行きづらい環境になってしまう、ということですね。

救急外来はどうですか。医者が足りないという面があるが。



## テーマ2 信頼される地域医療

- ・ 市民

人材の確保が大事。

- ・ グループリーダー

若い人はあまり病院にかからないかもしれないが、どうですか。

- ・ 市民

健康の駅もあるし、安心して医療が受けられるマチであって欲しい。金曜日に健康診断を受けられるような…。

- ・ グループリーダー

市民の目に見える連携をしてほしいということですね。

- ・ 市民

健康の駅を核としたマチづくりということでは、ポイントは規模や構想を具体的にどう進めて行くかということ。何年も議論して考えて進めて来た結果が今の結果なので、更に具体的に見える議論が必要。

基本構想、中身について今年から1年・3年何をやるか。総合計画は10年だから特別な議論は要らない。より具体的な意見交換が必要。

- ・ グループリーダー

結論はこういうマチにしたいとなった時に、より具体的な施策が必要ということですね。

- ・ 市民

受付で携帯を渡される病院があり、順番が来たら携帯で呼び出してくれる。プライバシーへの配慮がある。

今はインターネットで、検索している時代。専門的な信頼できるお医者さんがいると安心して一生ここに住みたいと思うし、市外からも患者さんが来ると思う。専門的な人材の確保が大事なのかなあと思います。

- ・ グループリーダー

専門医の固定化が必要だと。

- ・ 市民

留萌じゃ治療ができないと言われ、札幌の病院に行っている。交通費が掛かり経済的に大変。5分の診察に片道2時間3時間とかかる。夏はいいけれど冬になるともっと厳しい。札幌に通うのは仕事や経済的にも厳しい。

市立病院で総合的な治療が受けられるようになって欲しい。直に大きい病院に行きなさいと言うのではなく。

- ・ グループリーダー

ここでワンストップの医療体制を整えて欲しいということですね。

- ・ 市民

市立病院に行って他の科にまたがって診療をうけると時間がかかる。旭川まで行って診てもらっても時間が変わらない。改善ができるのであればシステム的に見直し、患者を待たせないでスピーディーに診療が受けられるようにしていく必要があると思う。



## テーマ2 信頼される地域医療

- ・市民

市立病院を民間経営にしたらいんじゃないか、赤字なら黒字になるような対策をもっと考えるのじゃないか。

- ・グループリーダー

市立病院は公営企業法を適用している。企業としてもっと考えてもらいたいということですね。

- ・市民

家族が余命宣告を受けた。大きい病院にと考えたが本人は「家族のいる留萌に居たい。」という。在宅医療があって自宅で看取ることが出来ればと思った。